# 2050年までにカーボンニュートラルを実現！達成への5Step

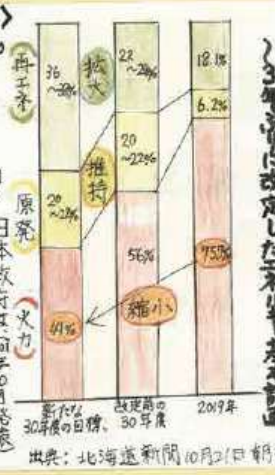
# 地球を救おう ～カーボンニュートラルで～ 新聞

北海道教育大附属旭川小
6年 梁村文音・志村遥愛
5年 山村理恵

## 1 エネルギーの基本計画の動向に注目する！

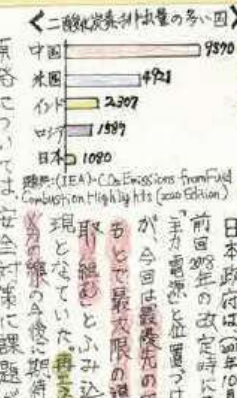
温暖化に歯止めをかけて地球を未来へつなぐために、世界はカーボンニュートラルへと歩みはじめた。これを実現するには私達がどうしていけば良いか目標達成に向けて5ステップを考えてみた。

### 再エネ倍増計画 ～3年ぶりに改定したエネ基本計画




出典：北海道新聞10月21日朝刊

〈二酸化炭素排出量の多い国〉



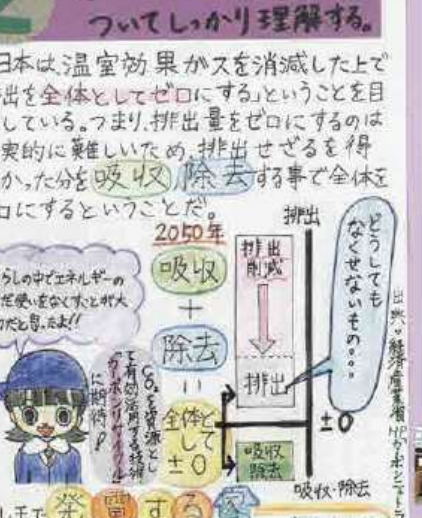

資料：(IEA)-CO2 Emissions from Fuel Combustion Highlights (2020 Edition)

原発については、安全対策に課題があるため、維持にとどまった。CO2排出ゼロの原発は、安全対策の動向と、今後の稼動数の変化に目が離せない。

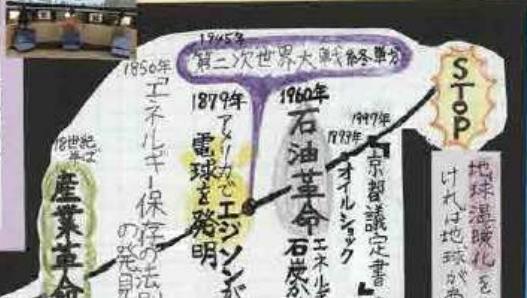
前回2018年の改定時に再エネは「主力電源」と位置づけていたが、今回は最優先の原則のもとで最大限の導入に取り組む」とふみ込んだ表現となっていた。再エネの拡大と火力の縮小の今後に期待している。

## 2 カーボンニュートラルについてしっかり理解する。

日本は、温室効果ガスを消滅した上で「排出を全体としてゼロにする」ということを目指している。つまり、排出量をゼロにするのは現実的に難しいため、排出せざるを得なかった分を吸収・除去する事で全体をゼロにするということだ。




## 人類の発展とエネルギー




## 東京2020オリンピックと水素エネルギー

～最高レベルとなる温室効果ガス低減を目指す～

札幌で行われたテストランで先進車など水素EV・FCVが使われていた。水素が灯す聖火の炎は国を挙げて取り組む水素社会の象徴であり、世界へのメッセージだと感じた。

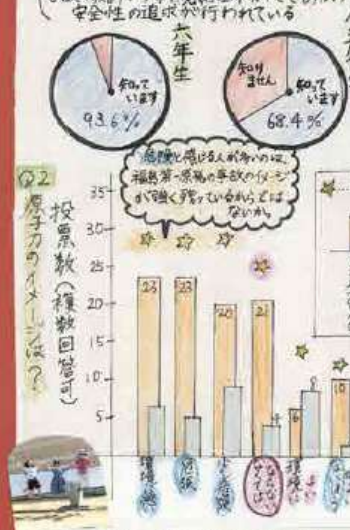
■なぜ水素ステーションをつくったのか？■水素に危ない、爆発しそうというイメージがあるので水素が安全に燃えている姿を見てもらう良い機会としたそうだ。

出典：TOKYO UPDATES サイトより

## 3 どうなる？どうしたい？原発のこれから…

エネルギー自給率がたいへん低い日本は、原発に大きな期待を抱いていた。東日本大震災による原発事故が起こるまでは…。

（事故の教訓から新規制基準ができあがり安全性の追求が行われている）




（研究）北海道教育大附属小5・6年

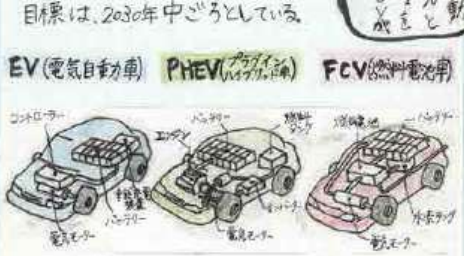
福島の事故以降は、安全性を保つためのコストが重くのしかかっている。しかし、原発は廃炉するにも多くのコストと時間がかかり、簡単に無くすことはできない。核のゴミ問題などと合わせてどのように原発と向き合っていくのかを考えていかなければならない。3E+Rに基づき、研究の日々は続いているようだ。

## 4 どんな車を選ぶ？ガソリン車はなくなる？

日本政府は、ガソリンディーゼル車を販売禁止にし以下の電動車に切り替えていくという方向を示した。目標は、2030年中ごろとしている。

オリンピックでの電動自動車率は90%となり走行中にCO2を排出しないEV・FCVが導入されていた。

EV（電気自動車） PHEV（プラグインハイブリッド車） FCV（燃料電池車）




2021年上半期の世界のEVの販売台数は前年比160%の260万台に増加し、世界は一気にEV化へと向かっている。一方、日本のEV販売台数は全販売台数の1.2%に留まっており、世界の潮流に乗り遅れているという見方もある。

EVの普及には充電ステーション等インフラの整備が必要であると同時に、多くの電気をどうやって発電するかという問題がある。

## 5 持続可能なまちづくりバイオガスプラントの活用

ぼくは夏休みに、人口3700人に対し、牛が1万2000頭の酪農の町興部町に行ってきた。
牛のふん尿をエネルギーに変える取り組みは、「畜産の循環」で、「脱・炭素」はもちろんのこと、長年悩まされ続けた地域住民から寄せられていた悪臭や環境汚染の問題解決への大きな一歩になった。
川や海をきれいにすることにも一役買っていて、バイオマスエネルギーで住民も牛も海の生き物たちもみんなよろこぶ社会がそこにあった。興部町産業振興課安東部さんご協力ありがとうございました。

## 現地学習へ 7月31日

### 旭山動物園の取り組み

（上野ファーム）

地球温暖化については、ホッキョクグマ館でみ林破壊はオランウータン館で学べた。注目は西門にあるバイオトイレで、お糞尻と体内バクテリアの働きにより排泄物を分解し、水を使わないバイオトイレで、地球にやさしいトイレだ。実際使ってみると正直自分の家のトイレより快適な気分。匂いもなく汚物もすぐ分解される様子が面白かった。自分たちにできることを小さなことから始めてみようと感じる1日となった。

▲九旭山動物園 主査 中瀬桑太さん（色々教えてくださいました）ありがとうございました

### 俳句コーナー（五七五で）

あのさひやま 動物園で学んだよ 世界を救う バイオのトイレ 文音

動物園 息に気絶を かけないで みんなで守ろう 地球の未来 瑛愛

あさひやま 動物園で バイオマス たくさん知ぶ 猛暑かやで 理恵

## エコクッキングでCO2を減らせる?!

みんなでカレーを作って食べました。出た生ゴミがこんなに減らせた!!

## まとめ

私たちは、エネルギーを学ぶ中で、人間たちの生活が快適になっている裏側で動物たちが苦しんでいることがわかった。「地球は人間だけのものではない」私たちも空と森そして未来のために電気の無駄使いからなくしていき、カーボンニュートラルを実現したいと強く思っている。

### 未来のエネルギーを考えてみて！

どれもとても考えさせられた。今後もひとりかせにせず考えていきたい。

出典：日経新聞 2021年5月4日

### 開発中の燃料たち

CO2排出ゼロ！ バイオジェット燃料で飛行機だってECO

原料に食用廃油やミドリムシ

空を飛ぶ!! ミドリムシで

経産省は2030年までに水素燃料の技術開発を進めていく方針だ。

CO2約150%吸収!!